

2023年第3回北海道学連競技会要項

The Inter-Collegiate Athletic League of Hokkaido 3rd OPEN Athletic Meet

競技会コード：23 61 0503

競技場コード：012010

1. 主 催 北海道学生陸上競技連盟
2. 開催協力校 北海道教育大学・小樽商科大学
3. 運営協力 公益財団法人札幌陸上競技協会
4. 期 日 2023年10月7日（土）
5. 会 場 札幌市円山競技場
6. 競技種目 〈男子11種目〉
1500m 10000m 10000mW
走幅跳 走高跳
砲丸投 円盤投（高校・一般・マスターズ）
デュアスロン（100m 300m）
スウェーデンリレー（100m-200m-300m-400m）
ディスタンスメドレーリレー（1200m-400m-800m-1600m）
〈女子11種目〉
1500m 10000m 10000mW
走幅跳 走高跳
砲丸投 円盤投（高校・一般・マスターズ）
スウェーデンリレー（100m-200m-300m-400m）
デュアスロン（100m 300m）
ディスタンスメドレーリレー（1200m-400m-800m-1600m）
〈男女混合1種目〉
4×400mR
7. 競技日程 詳しい競技日程については、競技会の3日前には北海道学連 HP に掲載する。
開門時間等の連絡も HP 上で行う。
北海道学連 HP：<https://sites.google.com/site/hokkaidogakuren2016>

8. 参加資格 2023 年度日本陸上競技連盟登録者
個人の参加種目数の制限は設けない。
9. 参加料 個人種目：1 種目 1,000 円
リレー種目：1 チーム 1,200 円
参加料は理由の如何にかかわらず返金しない。
10. 申込期間 2023 年 9 月 13 日（水）～2023 年 9 月 26 日（火）
期間中にアスリートランキングへの入力、ファイルの送付と参加料の振込を完了すること。
11. 申込方法
- a. アスリートランキング (<http://www.athleteranking.com/>) よりエントリーすること。
 - b. スプリントデュアスロン、ディスタンスメドレーリレーについてはアスリートランキングの大会ページより申込ファイル(Excel)を取得し、メール (hokkaido.gakuren10@gmail.com) まで送付すること。
 - c. エントリーの際には、2023 年度割り当ての ID・パスワードが必要となる。割り当てがない参加希望者は、メール (hokkaido.gakuren10@gmail.com) に団体の代表者より個別に連絡すること。
 - d. 所属団体等に割り当てられている 2023 年度アスリートビブスのナンバー入力が必要となる。大学生は大学ごとに割り当てられた番号を使用すること。高体連の選手は、各自のアスリートビブス番号を使用すること。一般での参加の選手は、各登録陸協での割り当て番号を使用すること。今年の大会においてビブス番号の入力漏れが相次いでいる。必ず入力すること。
 - e. 申込期間以降のエントリーは理由の如何にかかわらず認めない。
 - f. 参加料は必ず以下の振込先へ納入すること。
振込先：ゆうちょ銀行（振替） 02730-1-12927 北海道学生陸上競技連盟
※1 振込金受領書は払込の確認に使うことがあるので保管しておくこと。
※2 通信欄には大会名（サンセンエントリー）・団体名・参加料合計を記入すること。
※3 領収書が必要な場合には通信欄にその旨を記入すること。
競技会当日、本部受付にて発行する。
12. 競技について
2023 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

13. 注意事項

- a. 主催者が準備する投擲物は高校・一般用のみで、それ以外の重量の投擲物は自身で準備すること。
- b. 持参した投擲物は、競技注意事項にて指定した時間の間に検定を通過すること。
- c. スプリントデュアスロンは、100m、300mの順序で行う。各種目間はすべての競技者が少なくとも30分の時間を取れるようインターバルを設ける。混成競技の特性上、途中の種目からの参加は認めないため、注意すること。
また、各種目の記録は公認となる。
- d. 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2023年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。

14. 個人情報の取り扱いについて

- a. 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に使用する。
- b. 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者および主催者が承認した第三者が、大会運営および宣伝等の目的で、大会プログラム等の宣伝材料、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- c. 大会の映像は、主催者の許可なく、第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。

15. その他

- a. 競技会参加者はアスリートビブスを各自用意する。
- b. 新型コロナウイルス感染症拡大予防の措置が必要な場合は、ガイドラインに沿って必要な対策を講じる。
- c. 参加校にはその出場人数に応じて補助員・審判等を依頼する場合があります。円滑な競技会運営のため、ご協力をお願いいたします。

16. 問い合わせ先

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西5丁目7番地愛生館ビル5階

北海道学生陸上競技連盟 競技会係

TEL : 011-200-5401

FAX : 011-200-5402

Eメール : hokkaido.gakuren10@gmail.com

競技注意事項

北海道学連第3戦 円山公園陸上競技場
令和5年10月7日(土)

1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 円山公園競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) 競技場を使用しての練習は競技開始の15分前までとする。
- 4) ウォーミングアップの際は一般の方・野球場利用者との接触に気を付けること。
- 5) 競技前の投擲種目の練習は係の指示に従うこと。また、空いた穴は修復すること。

3. アスリートビブスについて

- 1) 学連登録した競技者は、各自の学連アスリートビブスを使用する。まだアスリートビブスを受け取っていない競技者には、受付の際に団体ごとに学連アスリートビブスを配布する。
- 2) トラック競技の場合は、腰ナンバー標識をつける。また、3000m以上の競技の出場者は通しナンバーカードをつける。(両方とも招集の際に競技者係で配布する。) 女子10000mに出場する競技者については、各自のレーンナンバーに10を足した数字を使用すること。
- 3) 学連登録者以外は各自のビブス番号を付けること。
プログラムに番号がないのは各自がエントリーの際に入力していないことに起因するため、各自の番号を付け現地集合に行き、番号を入力していなかった旨を出発係に申し出ること。
- 4) 腰ナンバーは、個人トラック出場者については右側にのみつける。
スウェーデンリレーについては4走者のみ右側につける。4×400mRについては2, 3走が両側に、4走が右側につける。ディスタンスメドレーリレーについては1, 2, 3走が両側に、4走が右側につける。

4. 招集について

- 1) 競技者は競技日程に記載された時間までに一次点呼を行い、その後競技開始場所に直接集合する。
- 2) 一次点呼を指定された時刻までに完了しなかった、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなされ当該競技種目に出場できない。
- 3) 招集時間は以下の通りである。

	一次点呼	現地集合時間
トラック競技	競技開始40分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前

- 4) 一次点呼場所(以降競技者係)は競技場メインエントランスに設ける。
- 5) 同一時間に複数種目に出場する場合、その旨をあらかじめ競技者係に伝えておくこと。
- 6) 代理人による点呼は原則として認めないが、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人

による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。

- 7) 10000m、10000mW ではシューズの厚さ検定とレーンナンバーの書かれたビブスの配布をもって一次点呼とする。その他の競技では一次点呼場所に掲示されたスタートリストへの丸付けをもって一次点呼とする。
- 8) リレー種目は、オーダー用紙（競技者係に用意）に走順・ナンバー・名前を記入し、一次点呼終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。なお、オーダーを提出したチームに関しては丸付けの必要はなく、オーダー提出を持って招集完了とする。

5. シューズについて

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟陸上競技規則 TR5 に基づいたシューズを着用すること。以下の表は日本陸上競技連盟陸上競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より重い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (三段跳を除く)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
ハードル種目を含む 800m 未満のトラック種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
障害物競争を含む 800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
競歩種目	40mm	

6. 棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は、棄権届け（2枚）に必要事項を記入し、競技者係へ提出すること。なお、棄権届は競技者係にあるので、取りに来ること。

7. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による。ディスタンスメドレーリレーはアスリートランキングに掲載されたPDFの通りとする。
- 2) デュアスロン 300m の組み合わせ、およびレーン順は主催者が抽選する。

8. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。ただし、投擲物は個人所有のものを使用することができる（招集完了時間1時間前に用器具庫で各々検査を受けて許可されたものに限る）。この投擲物は、他の競技者も使用できる。（TR32）
- 2) 滑り止めとして使用する炭酸マグネシウムなどについては主催者側で用意しない。必要に

応じて各個人が持参すること。

9. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し、復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) 風向きによって走行方向(ホームストレートまたはバックストレート)が変わるとされる種目(100m、200m、100mH、110mH)に関しては、競技開始 30 分前の風向きを参考に走行方向を決定する。
- 3) 次の種目は、競技進行に遅れを生じさせる恐れがある場合のみ、次の条件で打ち切ることがある。制限時間は以下の通りとする。また、このタイムは変更の場合がある。

男子10000m	45分00秒	女子10000m	45分00秒
男子10000mW	65分00秒	女子10000mW	65分00秒

- 4) 混成競技のシューズ検定については必要に応じて行う。
種目によって基準を満たしたものを使用すること。

10. フィールド競技について

- 1) フィールド競技における競技場内での練習は原則として2回とし、すべて競技役員の指示に従う。
- 2) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 3) 参加人数により、選手と相談の上競技開始時間を変更することがある。その際は必ず総務に相談すること。
- 4) 走幅跳については、2ピットで行う場合がある。
- 5) 円滑な競技進行のため、試技を行う際は制限時間を厳守すること。
- 6) フィールド競技の競技場所に近接したスタンドにコーチングエリアを設ける。
競技者とのコミュニケーションはコーチングエリアから行うこと。
- 7) 跳躍競技でのバーの上げ方は下記の通りとするが、競技役員の判断をもって状況により変更することもあり得る。特に棒高跳はバー止の付け替えの関係で変更することもあり得る。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降	
走高跳	男子	1m20								
		1m60	1m20	1m30	1m40	1m50	1m60	1m65	+5cm	※2m10以降は+3cm
		1m90								
	女子	1m20								
		1m30	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	+5cm	※1m70以降は+3cm
		1m45								

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから30分以内(予選、準決は15分以内)に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金10,000円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

11. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 3) 応急処置について 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする（競技者保険の適用）。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。医務室は、大会本部に設置してある。
- 4) 学校・競技関係者以外の撮影は禁止とする。撮影許可証は受付の際学校・報道にのみ渡すので、保護者やOBOGなどの関係者は学校関係者より受け取ること。北海道学連加盟校・参加中高に関しては所属を明記した服を着用しているものは撮影を可能とするが、撮影場所・機材などで主催者が必要と判断した場合は声掛けをすることがある。
- 5) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影している場所によっては不審と判断された場合、撮影許可証があっても競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 6) 不審者等がある場合、大会本部まで問い合わせること。
- 7) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。